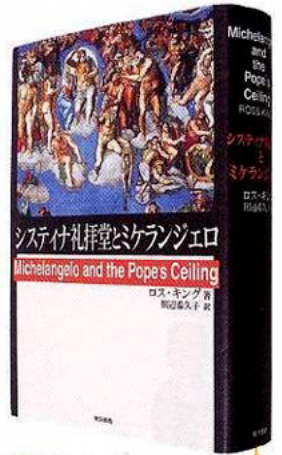


ロス・キング『システイナ礼拝堂とミケランジェロ』



BOOK
猜疑、難題、嫉妬
ミケランジェロをめぐる
傑作誕生の舞台裏

1508年春、フィレンツェに住んでいたミケランジェロにローマから召喚状が届いた。發送主は、「恐ろしき教皇」と称されていたユリウス二世。システイナ礼拝堂の天井画をお前が描けという。時に、ミケランジェロ33歳。「ヒエタ」や「タウイデ」で天才彫刻家としての名声は確立していたが、フレスコ画はほとんど経験がなかった。ことある毎に对立していたブラマンテが教皇を唆し、失敗を見越して難事業を押しつけたのではないか。この召喚状には陰謀の匂いがふんふんする。しかし、絶大な権力を持つ教皇には逆らえず、ミケランジェロはローマへと赴くのだが……。本書は、この天才が世紀の傑作を完成するまでの苦闘を克明に追う。自ら軍を率いて戦争に奔走する野心にみちた教皇。変色しカビが生える壁画。去ってゆく助手たち。借金や就職でトラブルを持ち込む家族。ミケランジェロの前に次から次へと難題が立ちはだかる。著者は前著「天才建築家ブルネレスキ」に続き、生身の芸術家を巡る人間ドラマを多面的に描き出している。軽々と仕事をこなす若き天才ラファエロに嫉妬し、高い足場で長くきつい肉体労働に疲労困憊する彫刻家の息づかいまで聞こえてきそう。

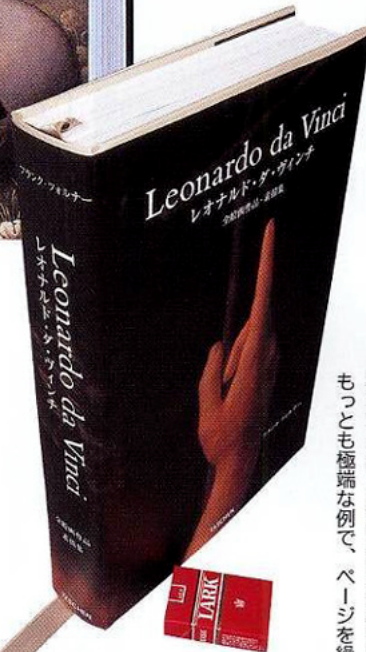
INVITATION

「ロス・キング『システイナ礼拝堂とミケランジェロ』田辺希久子訳 東京書籍 本体5000円」
BOOK
重さなんと10キロ!
巨匠レオナルドの質量を
どーんと体感する作品集
 ヘルムート・ニュートン、30キログラム。モハメド・アリ、34キログラム。体重の話ではない。この数字、彼らの1冊の作品集の重量なのである。そんな無茶な本を出版したのは



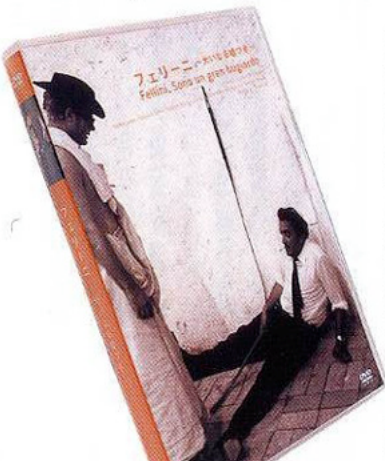
『レオナルド・ダ・ヴィンチ 全絵画作品・素描集』

をひっくりかえしてみせた価格破壊の張本人である。そうした活動の一方で同社は、数年前から巨大な判型のヴィジュアルブックを積極的に手がけている。冒険したふたつがもっとも極端な例で、ページを繰るものも苦労という、読むことイコール筋力トレーニングみたいな代物だった。それよりはやや小ぶりのサイズ(といっても超ビッグで超ヘヴィ)で、荒木経惟、レニ・リーフェンシュタールの写真集も刊行されている。本書、レオナルド・ダ・ヴィンチの作品集も相当なもので、天地44センチ、左右30センチ、厚さ7センチ、全696頁で重さ10キログラム。それでこの値段はリーズナブルだろう。昨年刊行の英語版に続き、今回、待望の日本語版が登場。おなじみの巨匠の作品も、このサイズだと視覚体験の質がまったく違ってしまふことに驚く。というより、これこそがレオナルドという天才の質量に見合ったかたちだといふべきか。『レオナルド・ダ・ヴィンチ 全絵画作品・素描集』 タツシエン 本体25000円



ケルンを拠点とするタツシエン社。1985年の設立以来、数々のヴィジュアルブックを大胆な廉価で世に送り出し、美術書は高価という常識

をひっくりかえしてみせた価格破壊の張本人である。そうした活動の一方で同社は、数年前から巨大な判型のヴィジュアルブックを積極的に手がけている。冒険したふたつがもっとも極端な例で、ページを繰る



DVD
大いなる嘘つき
フェリーニの魔術に迫る
決定版ドキュメンタリー
 昨年日本で、没後10年を記念したフェリーニ映画祭が開かれた。その折、貴重なドキュメンタリー映画が特別上映されたのを存じですか? 見逃した方は、今回DVDになったから、ぜひご覧あれ。1991年夏から翌年にかけて行われた生前最後のインタヴューを中心に、10年余りの歳月をかけてつくられた作品である。フェリーニ映画の抜粋や自作解説に加え、妻ジュリエッタ・マシーナ、作家イタロ・カルヴィーノ、ドナルド・サザーランドなどの出演俳優、それに制作スタッフたちの証言をおりませて映像の魔術師の素顔を浮き彫りにしている。映画を撮り始める前の20代前半、生後わずか1ヶ月で長男を亡くしたことが夫妻の間に影を落としていたといった余り知られていないエピソードを幼友達に語れば、「世にも怪奇な物語」でフェリーニに乗る蒼白の美青年を演じたあのテレンス・スタンプが「乱交パーティーの後でLSDを

ダミアン・ハティグリュ監督
 『フェリーニ 大いなる嘘つき』